

(中国丙01)  
インフルエンザ  
発生推移  
= 2022年12月度 =

発表: 2023年01月29日天津CDC

作成: 2023年02月01日  
日中医療衛生情報研究所

# インフルエンザの分類について

- ここには一般の季節性インフルエンザと  
(2013年11月分以後の)H1N1型が含まれている。
- 中国でしか感染者が出ていない  
H5N6や、  
H9N2の患者については、  
界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、  
「その他感染症」に分類されていることが判明しました  
⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>  
の最終パラグラフご参照ください。

# インフルエンザの特徴

2008年からこれを振り返ってみると、

年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大  
コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

2019年12月は1,199,771人

2020年01月は 986,543人

この2か月連続100万人という状況を、  
衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

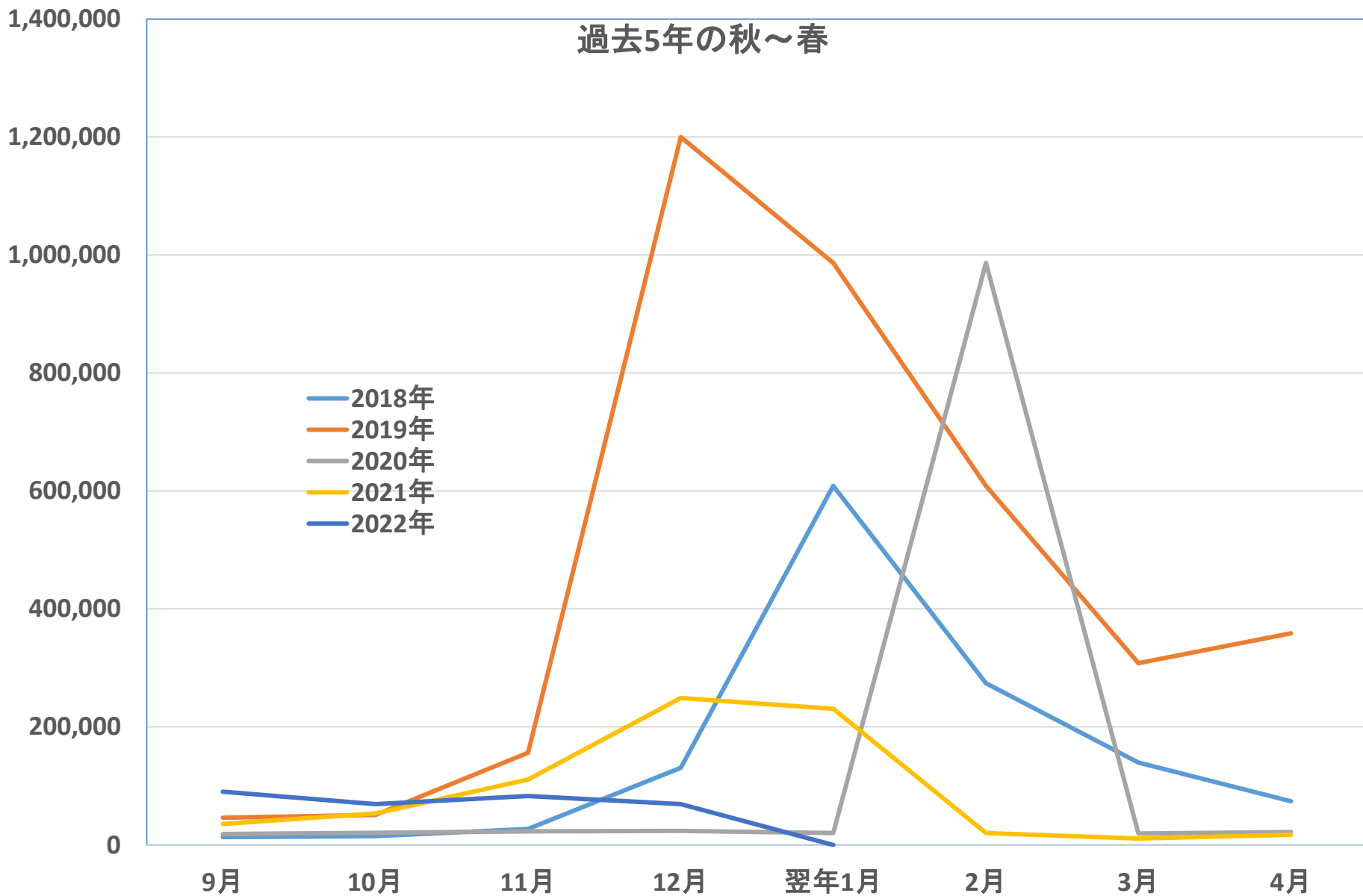
2020年12月は 23,546人

2021年01月は 20,232人 となった

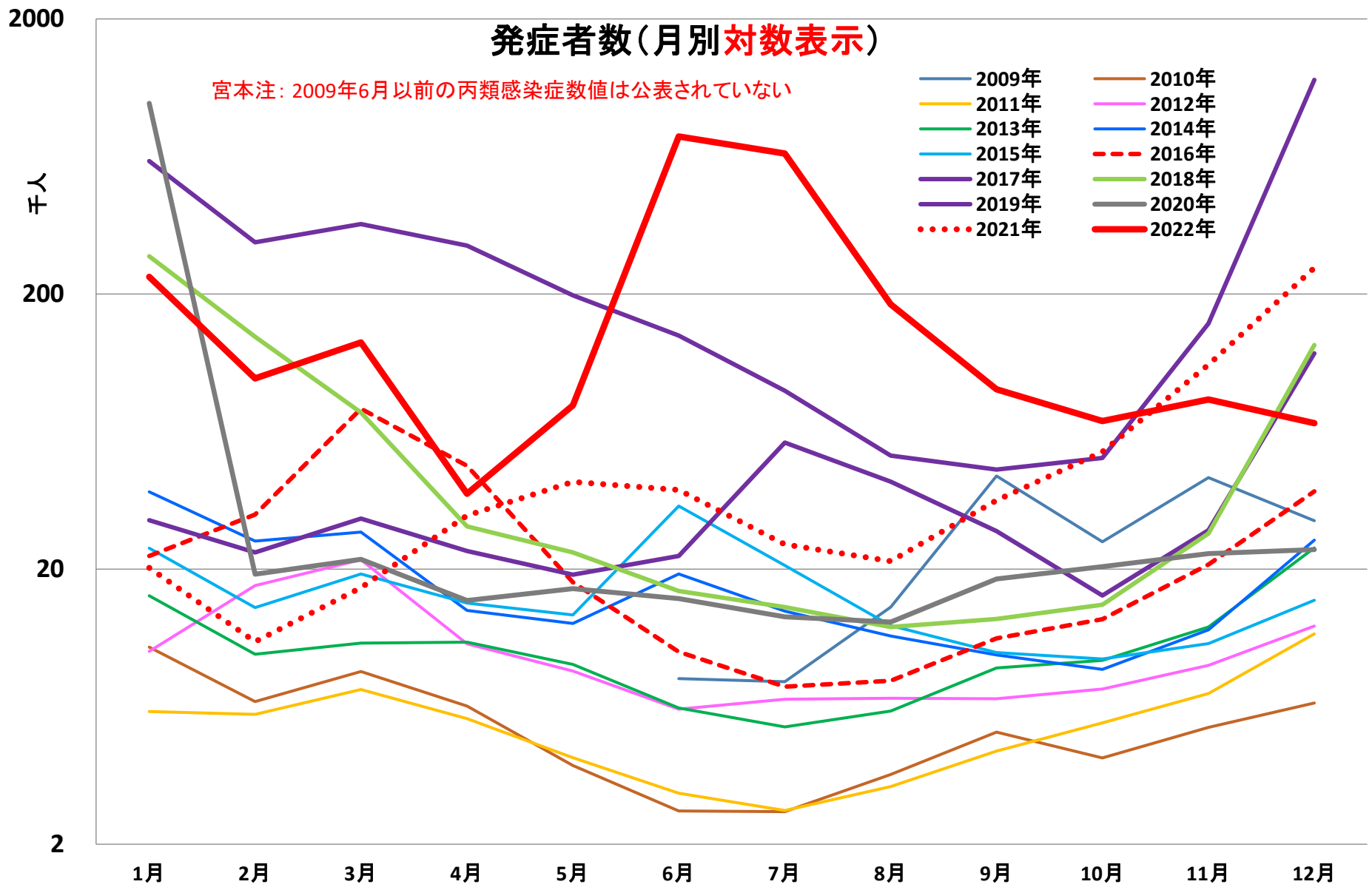
謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:

'19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは? ...

# 丙01：インフルエンザ



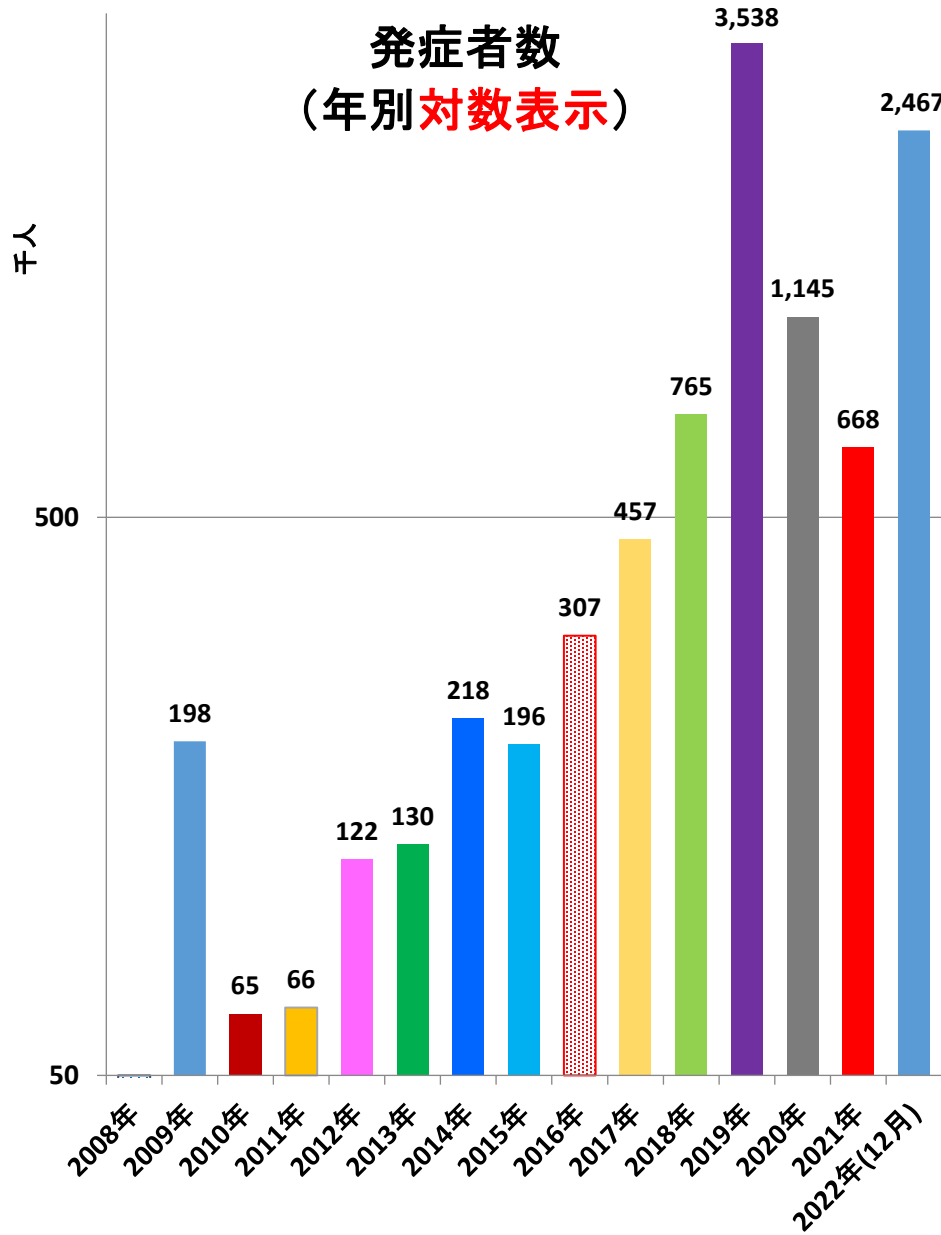
# 丙01：インフルエンザ発症者数（秋～春）





# 丙01：インフルエンザ

発症者数  
(年別対数表示)



死亡者数(年別)

